

二輪車のナンバープレートの様式の見直し 及び希望ナンバー制導入に係るワーキンググループ

第 2 回 システム改修 (MOTAS) の検討

2023年9月4日

はじめに

第1回WGにて、二輪の希望番号導入の方向性をお示しいただきました。

方向性

- ✓ 小型二輪及び軽二輪において希望番号を導入すること。
- ✓ システム改修においては、改修期間は1年間が目安になること。※プレート作成のハード導入を鑑み。

本資料では、以下の検討を行います。

本資料での検討事項

- ✓ システム（MOTAS）での実現内容
- ✓ 想定する改修スケジュール

システム（MOTAS）での実現内容

第1回WGを踏まえ、システムでの実現内容を以下と認識しております。

検討の対象は、第1回WGにおいて、多くの委員が一番望ましいとした「具体的方策案3-②：用途平仮名の表示場所を移動せず、ローマ字の後ろに数字を追加」とします。

実現内容

■ 小型二輪

払底対応

- ・一連番号
- ・転入抹消番号

希望番号の導入

- ・一般希望番号
- ・抽選対象希望番号

■ 軽二輪

払底対応

- ・一連番号
- ・転入抹消番号

希望番号の導入

- ・一般希望番号
- ・抽選対象希望番号

実現の方向性

- ① 分類番号の桁数拡張によるナンバープレートの払出枚数の拡大
- ② 小型二輪及び軽二輪への希望番号予約済証の導入

具体的方策案3-②：用途平仮名の表示場所を移動せず、ローマ字の後ろに数字を追加  国土交通省

1. 小型二輪の場合

- CLV以外のローマ字「10文字」も使用可能
 - 新たに0～9の「10文字」を使用可能
 - 想定運用年：約96.7年
(現行)
- (変更後) C,L,V以外のローマ字も使用可能とし、CLVの後ろに0～9の数字を追加する

現行
神奈川県 C 12-34



変更後
神奈川県 C 12-34

2. 軽二輪の場合

- 分類番号に、1又は2以外に「4,5,7」も使用可能
 - 新たな桁に0～9の「10文字」を使用可能
 - 想定運用年：約37.4年
(現行) 分類番号は1又は2
- (変更後) 分類番号：4,5,7も使用可能とする
分類番号の後ろの桁：0～9の数字を追加する

現行
神奈川県 川 23-49



変更後
神奈川県 川 23-49

実現の方向性

【参考】分類番号の桁数拡張のイメージ

■小型二輪の場合

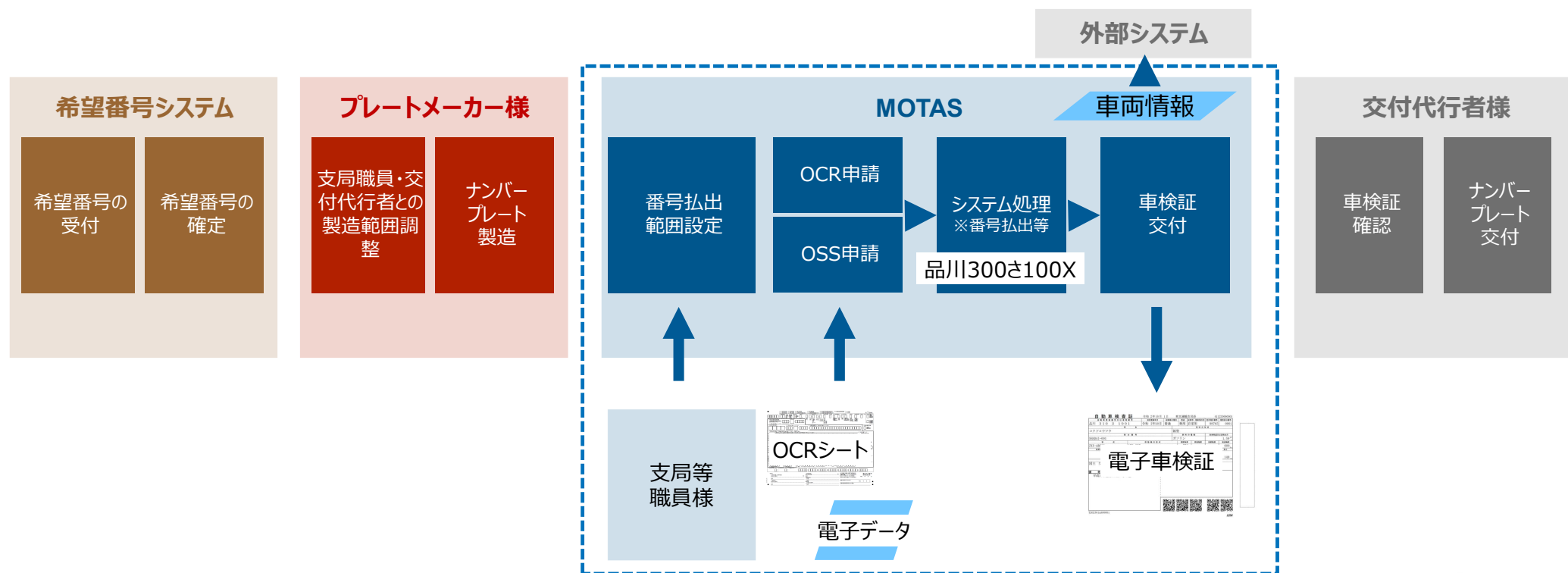
	標板文字	分類番号	かな文字	一連番号
現状	品川	C	さ	1000
	■最大長 尾張小牧	■種類 なし C L V	■種類 自家用 : 以下以外のかな文字 (36文字) 事業用 : ゆ、り、れ (3文字) 貸渡 : ろ、わ (2文字) 駐留軍 : A、B (2文字) 予備検 : D、F、G、J、N、P、Q、R、U、W、X (2文字) 一時輸入 : T (1文字) 使用不可 : よ、E、H、K、M、Y (6文字) 対象外 : お、し、へ、ん、C、I、L、O、S、V、Z	■番号帯 1～9999
変更後	品川	G2	さ	1000
	変更なし ■最大長 尾張小牧	変更あり (1桁→2桁) ■一桁目 英字 ■二桁目 数字	変更なし ■種類 自家用 : 以下以外のかな文字 (36文字) 事業用 : ゆ、り、れ (3文字) 貸渡 : ろ、わ (2文字) 駐留軍 : A、B (2文字) 予備検 : D、F、G、J、N、P、Q、R、U、W、X (2文字) 一時輸入 : T (1文字) 使用不可 : よ、E、H、K、M、Y (6文字) 対象外 : お、し、へ、ん、C、I、L、O、S、V、Z	変更なし ■番号帯 1～9999

システム（MOTAS）での実現内容

【参考】MOTASの役割

MOTASがシステムとして担う範囲は、主に、「払出可能な登録番号/車両番号の範囲設定」「OCRシートや電子申請による申請の処理」、「登録番号/車両番号の払出」、「車検証の交付」、「車両情報の外部提供」となります。

ナンバープレートの製造はプレートメーカー様にて、ナンバープレートの交付は交付代行者様にて実施いただいております。



システム（MOTAS）での実現内容

①分類番号の桁数拡張

「分類番号の桁数拡張」にあたっては、「車両番号」の入力/出力にかかわる業務機能に関する実現が必要となります。

項番	分類	主な対象	主な実現内容	考慮事項
1	入力	OCRシート 電子データ	・桁数拡張した車両番号を入力可能にする。 ・希望自動車登録番号欄 ・自動車登録番号欄	・軽二輪においては、様式省令の変更が必要です。
2	出力	電子車検証 登録事項等証明書 検査記録事項等証明書 等	・桁数拡張した車両番号を出力可能にする。 ※帳票券面、二次元コード	・二次元コードの利用者は多いため、周知等の考慮が必要と想定します。
3	業務機能	申請処理	・車両番号での判定箇所 ※登録車、小型二輪、軽二輪の見分け	
4		番号払出	・分類番号2桁にて、車両番号を払い出す。 ※一連番号、希望番号（抽選）、希望番号（一般）、転入抹消番号 ・希望番号（抽選）及び希望番号（一般）について、自動で払い出しされないように、制御する。	
5		統計	・希望番号選択率の統計のカウント	
6		外部連携	・小型二輪・軽二輪についての外部連携で、桁数拡張した車両番号にて連携可能にする。	・情報提供では、登録情報提供機関からさらに先に外部システムが存在し、車両情報の活用を行っているため、事前の周知が必要。

システム（MOTAS）での実現内容

【参考】現状の各種帳票（小型二輪）

凡例：対応が必要な範囲

申請書 第1号様式

新規登録 変更登録 更正登録 予備検査 自動車予備検査証記入 所有者変更記録

新規検査 移転登録 自動車検査証記入 自動車検査証交付 自動車登録番号標交付

①希望自動車登録番号
 ②自動車登録番号
 ③車台番号
 ④所有者コード
 ⑤登録識別情報
 ⑥車体の塗色

申請人 (新所有者・現所有者) 氏名又は名称 住所
 申請代理人 氏名 住所
 (使用者) 氏名又は名称 住所
 住所

運輸支局長 印
 運輸監理部長 印
 令和 年 月 日

自動車検査証 令和 2年10月 1日 東京運輸支局長 411230000001

品川 310 さ 1001 令和 2年10月 普通 乗用 自家用 98765 0001

コトドコツツ 箱型 SHADA1-001 ガソリン 1.59

ZXX-ABC99 ABB-3DE 750 600

5 1350 1625 448 173 149

国土交通

備考 平成10年騒音96dB, その他

T202301AA00001 1234

システム (MOTAS) での実現内容

【参考】現状の各種帳票 (軽二輪)

凡例：対応が必要な範囲

軽二輪 第1号様式

①業務種別 ④補助シート ⑥番号指示 ⑧処理 ⑨例外 ⑩制限解除 ⑪重量税

301111

希望番号記入欄の新設

分類番号の桁数拡張

⑫所有コード

⑬住所

⑭住所

⑮住所

⑯住所

⑰住所

⑱住所

⑲住所

⑳住所

㉑住所

㉒住所

㉓住所

㉔住所

㉕住所

㉖住所

㉗住所

㉘住所

㉙住所

㉚住所

㉛住所

㉜住所

㉝住所

㉞住所

㉟住所

㊱住所

㊲住所

㊳住所

㊴住所

㊵住所

㊶住所

㊷住所

㊸住所

㊹住所

㊺住所

㊻住所

㊼住所

㊽住所

㊾住所

㊿住所


運輸支局長 運輸監理部長 令和 年 月 日

番号 00053 平成 31 年 4 月 1 日 (1/2) 東京運輸支局長

軽自動車届出済証

車 台 番 号	平成	初年度出年月	用途	自家用・企業用の別	車 体 の 形 状
1 品川 や 9999	31	4 1	乗用	自家用	オートバイ [004]
ホンダ	車 台 番 号	[296]	車 体 重 量	2	最大積載量
AB-XYZ005	型 式	原動機の型式			
E-AE	4E				
所有者の氏名又は名称	国土交通 大府				
所有者の住所	東京都中央区築地2丁目1-17 [13003 0616 015]				
使用者の氏名又は名称	国土交通 次府				
使用者の住所	東京都中央区築地4丁目7-5 [13003 0616 095]				
使用の本拠の位置	東京都中央区築地4丁目7-7 [13003 0616 097]				
備 考	[品川], 新規登録				

検査対象外軽自動車



システム（MOTAS）での実現内容

②希望番号予約済証の導入（小型二輪・軽二輪）

窓口申請およびOSS申請にて希望番号での申請を可能とするにあたり、希望番号予約済証の導入を想定します。

項番	分類	対象	実現内容	考慮事項
1	窓口申請	希望番号予約済証	影響なし ※希望番号予約済証は電子化対象外 ※OCRシートの「希望自動車登録番号」欄への記入となる。	
2	OSS申請	希望番号予約済証	・OSS申請において、希望番号システムより希望番号予約済証を連携し、当該番号での審査およびMOTAS登録を可能とする。	

システム（MOTAS）での実現内容の深堀

深堀対象：番号の払出（1/2）

「番号の払出」については検討要素がある認識です。

システム（MOTAS）だけでなく、プレートメーカ様及び交付代行様様の運用面を踏まえ、システム改修内容の検討が必要と考えます。

運用面

申請者様のユーザビリティを踏まえた運用の実現が必要と認識しております。

- ✓ 車検証交付の**当日にナンバープレートの払い出しができるように**することで、申請者様が再来庁の手間を無いようにする。
- ✓ 車検証交付の当日にナンバープレートを交付可能にするため、一連番号については**事前製造および支局等へのプレートの配備**を行う。

【参考】登録車での運用

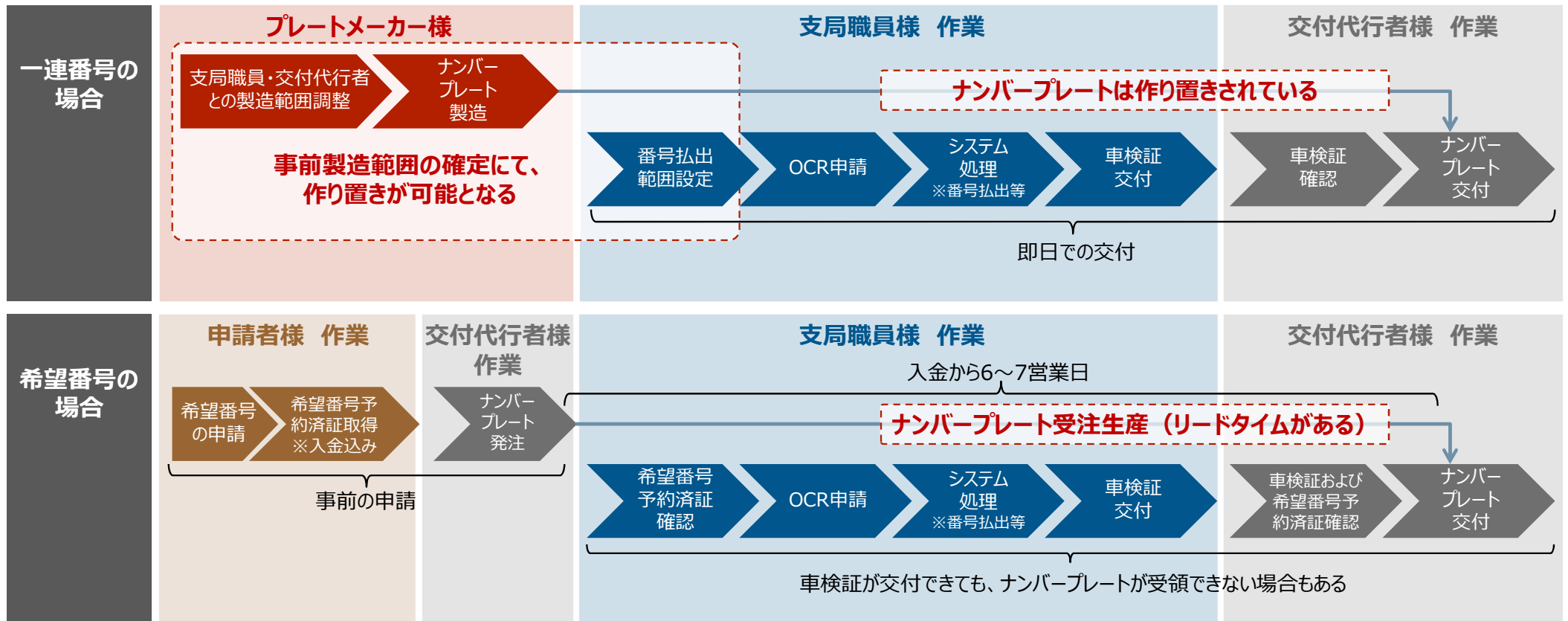
- ✓ 車両番号は4種類あり、登録車においては、分類番号にて「払い出す番号の種類をすみ分け」を実施している。
- ✓ 「一連番号」については、事前にプレートを製造し、支局等への配備することで、車検証交付即日でのプレート交付を行っている。
- ✓ システムでは、定められた分類番号ごとに、払い出す番号の種類を制御や識別をしている。

番号の種類	車両の種類	分類番号（例）	かな文字	番号帯（4桁）	
一連番号	普通	3 0 0	さ	1～9999 ※抽選対象希望番号は除く	▶ 事前にプレート製造
希望番号（抽選）	普通			1、7777など抽選対象希望番号	
希望番号（一般）	普通	3 1 0	さ	任意の番号 ※申請者の希望による	▶ 製造対象外
転入抹消番号	普通	3 9 9	さ	1～9999	

システム（MOTAS）での実現内容の深堀

【参考】ナンバープレート払い出しまでの流れ（登録車の場合）

分類番号にて一連番号・希望番号等の払い出し範囲を分けることで、作り置きや二重製造防止の運用が整理されている認識です。



システム（MOTAS）での実現内容の深堀

深堀対象：番号の払出（2/2）

小型二輪・軽二輪での番号払出における、対応（案）のメリット・デメリットを検討しております。

小型二輪・軽二輪での対応（案）の検討

No	改修（案）	メリット	デメリット
1	分類番号にて番号の種類のみ分ける	・一連番号のナンバープレートの製造範囲が事前に確定できるため、プレートメーカー様での作り置きができ、支局等へのプレートの配備ができる。	・項番2に比して、希望番号（一般）、希望番号（抽選）の確保できる番号が少なくなる。
2	分類番号にて番号の種類のみ分けない	・項番1に比して、希望番号（一般）、希望番号（抽選）の番号を多く確保できる。	・一連番号のナンバープレートの製造範囲が事前に確定できないため、事前製造分に希望番号（一般）となる番号のプレートが混在する、二重製造となる可能性があり得る。

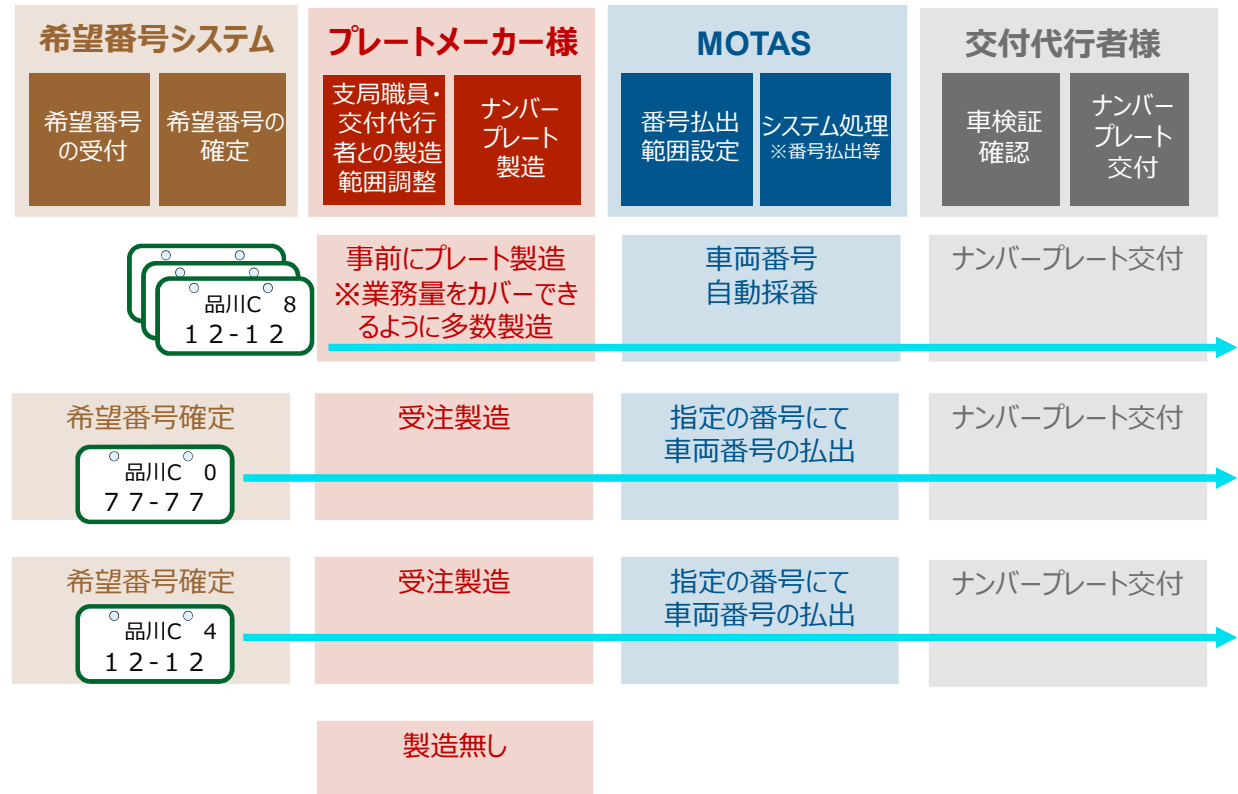
システム（MOTAS）での実現内容の深堀

項番 1：分類番号でのすみ分けを行う場合

登録車と同様に、一連番号のナンバープレートの作り置きができ、また、二重製造のリスクを低減できると認識しております。

番号の種類ごとに「すみ分け」を行う場合

番号の種類	分類番号		例	かな文字	番号帯 (4桁)
	1桁目 (例)	2桁目 (例)			
一連番号	C、L、V D、F、G、 J、N、P、 Q、R、W、 X	8	C 8 など	さ	1~9999 ※抽選対象希望番号は除く
希望番号 (抽選)		0、1、 2、3	C 0 など		1、7777 など 抽選対象希望番号
希望番号 (一般)		4、5、 6、7	C 4 など	さ	任意の番号 ※申請者の希望による
転入抹消番号		9	C 9 など	さ	1~9999



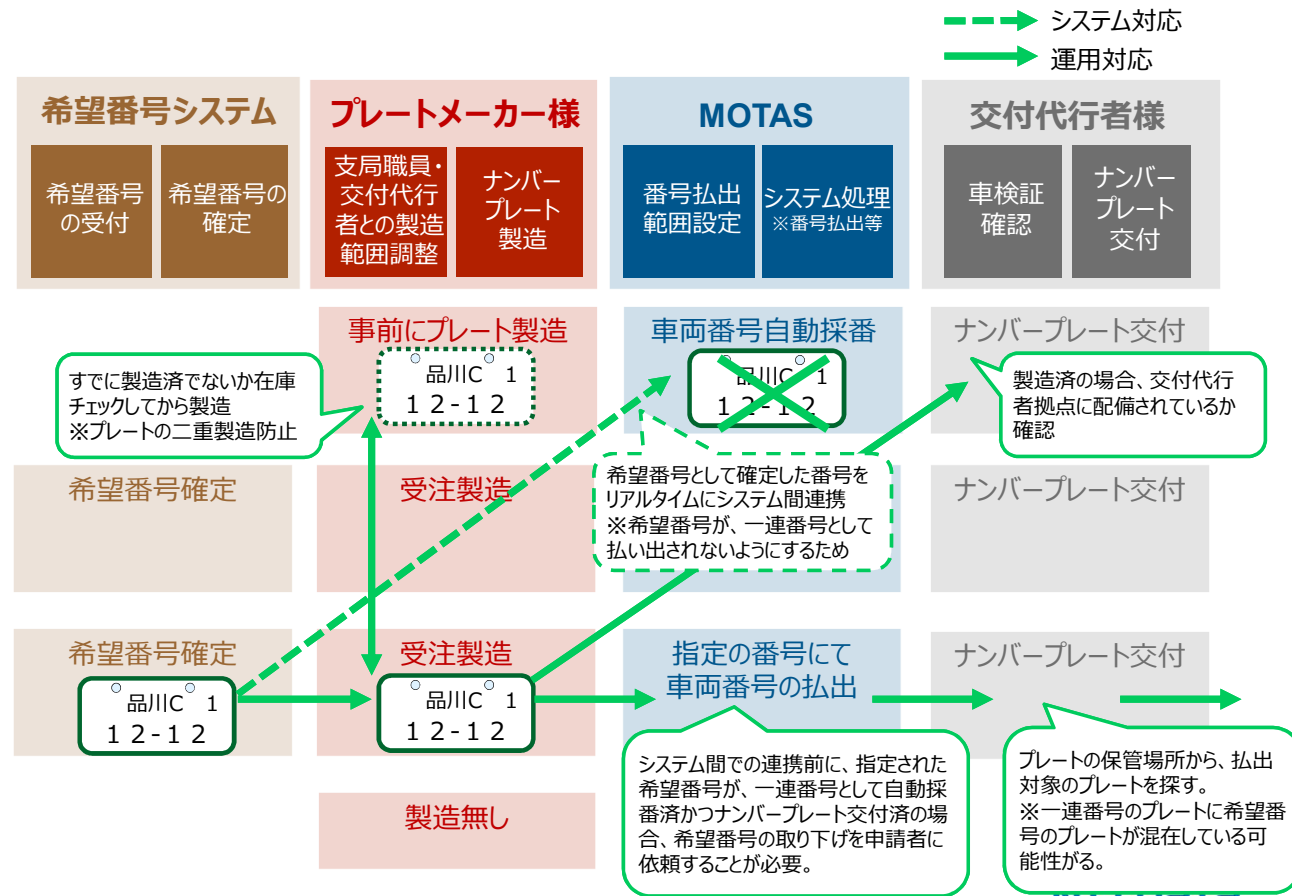
システム（MOTAS）での実現内容の深堀

項番 2：分類番号でのすみ分けを行わない場合

登録車において「すみ分け」にてカバーされている内容を、システム面および運用面で実現することが必要となると考えます。

番号の種類別の「すみ分け」を行わない場合

番号の種類	分類番号		例	かな文字	番号帯 (4桁)
	1桁目 (例)	2桁目 (例)			
一連番号	C、L、V D、F、G、 J、N、P、 Q、R、W、 X	0、1、 2、3、 4、5、 6、7、 8、9	C 0 C 4 C 8 C 9 など	さ	1～9999 ※抽選対象希望番号は除く
希望番号 (抽選)					1、7777 など 抽選対象希望番号
希望番号 (一般)					任意の番号 ※申請者の希望による
転入抹消番号					1～9999



改修スケジュール

外部機関およびMOTASのシステム改修

各システム足並みを揃えてシステム改修ができるよう、外部機関へのアナウンスや改修計画の立案が重要と考えます。また、システムの改修内容により、2023年度内での調整が必要と考えます。

		2023年度	2024年度	2025年度～
システム改修	MOTAS	改修内容策定	システム改修計画	システム改修
	希望番号システム		システム改修計画	システム改修（想定）
	他外部システム	外部機関へのアナウンス	システム改修計画	システム改修（想定）

NTT Data